

工事監理状況報告書(鉄骨造)

令和7年7月1日作成 高崎市

中間検査

(あて先) 建築主事

令和 年 月 日

確認済証番号	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主 氏名	

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法12条5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所
		会社名
		報告者名

確認事項		確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
			A:目視		
			B:計測		
			C:その他		
1	確認表示板(法89)	1 建築確認表示板の設置	A	適:不適	
2	工事現場の危害の防止(90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	A	適:不適	
3	敷地の衛生及び安全(法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	A:B:C	適:不適	
4	敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	A:B:C	適:不適	
		2 道路に接する敷地の長さ	A:B:C	適:不適	
		3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	A:B:C	適:不適	
		4 2項道路の後退	A:B:C	適:不適	
5	敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52～54)	1 敷地形状及び高低差	A:B:C	適:不適	
		2 基礎形状・建物形状	A:B:C	適:不適	
		3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	A:B:C	適:不適	
6	斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	A:B:C	適:不適	
		2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	A:B:C	適:不適	
7	基礎・地盤(令38、79、告示1347) (令77、78、79) (令73、告示1463) (令73、告示1463) (令72、74、告示1102) (令76、告示110)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法 ()	A:B:C	適:不適	
		2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容()	A:B:C	適:不適	
		3 杭種・工法・打設結果の確認	A:B:C	適:不適	
		4 径、長さ、本数	A:B:C	適:不適	
		5 杭偏芯の有無・処理(基礎・梁の補強)	A:B:C	適:不適	
		6 杭頭処理	A:B:C	適:不適	
		7 鉄筋の品質・規格(ミルシートの確認)	A:B:C	適:不適	
		8 主筋・あばら筋等の本数、径及び間隔、かぶり厚	A:B:C	適:不適	
		9 主筋の定着	A:B:C	適:不適	
		10 継手の位置(接合方法:)	A:B:C	適:不適	
		11 継手試験方法・結果 ☐ 引張り ☐ 超音波	A:B:C	適:不適	
		12 梁貫通補強	A:B:C	適:不適	
		13 コンクリートの品質・規格	A:B:C	適:不適	
		14 型わく及び支柱の除去	A:B:C	適:不適	
		15 基礎出来形(各部材の形状、寸法の確認)	A:B:C	適:不適	
8	上部構造 (令66、67、68) (告示1456) (告示1464)	建築物全体	1 建築物の形状	A:B:C	適:不適
		部材の配置	2 建築物の建て入れ精度	A:B:C	適:不適
			3 柱・大梁・小梁の配置	A:B:C	適:不適
			4 垂直・水平ブレースの配置	A:B:C	適:不適
			5 デッキプレート、ALC板の方向性	A:B:C	適:不適
		部材の仕様	6 鋼材・ボルトの材質、形状、寸法	A:B:C	適:不適
			7 ボルトの縁端距離	A:B:C	適:不適

確認事項		確認を行う照合内容		照合方法※1	照合結果※2	備考	
				A:目視			
				B:計測			
				C:その他			
8 上部構造 (令66、67、68) (告示1456) (告示1464)	柱脚の施工 状況	8	柱とベースプレートの溶接	A : B : C	適 : 不適		
		9	ベースプレートの寸法	A : B : C	適 : 不適		
		10	アンカーボルトの径、長さ、位置、二重ナット	A : B : C	適 : 不適		
		11	ベースプレート下モルタル充填	A : B : C	適 : 不適		
		12	脚部の根巻き・埋込み	A : B : C	適 : 不適		
	柱・梁の仕口 部	13	突合せ溶接の位置、状況	A : B : C	適 : 不適		
		14	ダイヤフラムとフランジの位置、状況	A : B : C	適 : 不適		
		15	スラップ、エンドタブ、裏当て金の確認	A : B : C	適 : 不適		
	梁接合部	16	HTBの径、本数、添え板厚	A : B : C	適 : 不適		
		17	ピンテールの破断（トルシア型）	A : B : C	適 : 不適		
		18	マーキングのずれ（全てのHTB）	A : B : C	適 : 不適		
		19	高力六角ボルトの締付け（JIS型）	A : B : C	適 : 不適		
		20	摩擦面の処理	A : B : C	適 : 不適		
	その他 (令79の3)	21	溶接部の検査結果	A : B : C	適 : 不適		
		22	床の仕様、接合方法	A : B : C	適 : 不適		
		23	ブレースの接合部、たわみ	A : B : C	適 : 不適		
		24	梁 等貫通個所の位置、補強	A : B : C	適 : 不適		
		25	さび止め塗装	A : B : C	適 : 不適		
		26	コンクリートのかぶり厚さ（SRC）	A : B : C	適 : 不適		
	9	その他			A : B : C	適 : 不適	
	※3				A : B : C	適 : 不適	
					A : B : C	適 : 不適	
					A : B : C	適 : 不適	
					A : B : C	適 : 不適	

※4 その他の 照合方法	

検査に 用いる 図書の 例	確認関係図書	■ 確認申請図書 ■ 告示第1347号による基礎構造図
	工事監理記録	■ 支持地盤確認 ■ 基礎配筋検査 ■ 鉄骨製品検査 ■ 建方検査
	使用材料の品質を示す書類	■ 鉄筋・鉄骨ミルシート ■ コンクリート試験結果等 ■ 使用材料品質証明書
	検査結果報告書	■ 杭工事施工結果報告書 ■ 溶接部検査結果報告書 ■ 鉄骨精度測定結果
		■ 露出型柱脚施工管理報告書 ■ コンクリート工事施工結果報告書
		■ 自主検査報告書
※5	その他	■ 工事写真 ■ 認定・評定書の写し ■ 各種施工要領書

※1 照合方法は、A : B : Cに○印を記入して下さい。（該当しない項目は記入しないで下さい）

※2 照合結果は、「適」・「不適」のいずれかに○印を記入してください。工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」に○印を記入し、建築主に対し報告した内容を備考に記入して下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「9その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 照合方法が「C:その他」の場合は、その項目番号とその他照合の動作や試験結果成績書等による具体的方法を記入して下さい。

※5 「■」の図書について、該当する工事が無い場合は用意不要です。